

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	解剖生理学Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	301
担 当 教 員	川内 秀之 ほか	実務経験とその関連資格	医師として病院に勤務			
《授業科目における学習内容》						
人体の構造と機能を有機的に繋ぎ、系統的に各器官の位置関係、形状、内部構造、そして器官の機能、人体における役割を系統的に学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
出席および課題提出状況、筆記試験で総合的に評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 医学書院 系統看護学講座準拠 解剖生理学ワークブック						
《授業外における学習方法》						
解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。						
《履修に当たっての留意点》						
解剖生理学ワークブックを事前にしておいて下さい。講義範囲はテキストを読んでおいて下さい。講義終了毎に確認テスト又は小レポート提出があります。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	内分泌と外分泌の説明ができる。 内分泌腺と内分泌細胞について説明できる。		解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	内分泌系による調節、全身の内分泌腺と内分泌細胞			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	ホルモン分泌の調節とその実際について説明できる。		解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	ホルモン分泌の調節、ホルモンによる調節の実際			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	腎臓の構造と機能について説明できる。		解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	腎臓の構造と機能について			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	排尿路の構造と体液の調節について説明できる。		解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	排尿路の構造と機能 体液の調節			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	生殖器について説明できる。		解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	男性生殖器、女性生殖器(学内:堀内先生)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	受精と胎児の発生について説明できる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	受精と胎児の発生、成長と老化(学内:堀内先生)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経系の構造と機能について説明できる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	神経系の構造と機能、脊髄と脳(川内先生)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳の高次機能について説明できる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	脳の高次機能(川内先生)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動機能と下行伝道路について説明できる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	運動機能と下行伝道路(川内先生)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚機能と上行伝道路について説明できる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	感覚機能と上行伝道路(川内先生)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	自律神経の構造と機能について説明できる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	自律神経の構造と機能(川内先生)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	脊髄神経と脳神経について説明できる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	脊髄神経と脳神経①(川内先生)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	脊髄神経と脳神経について説明できる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	脊髄神経と脳神経②(川内先生)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	目の構造と視覚、耳の構造と聴覚・平衡覚について説明できる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	目の構造と視覚 耳の構造と聴覚・平衡覚(川内先生)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	味覚と嗅覚、痛みについて説明できる。	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	味覚と嗅覚、痛み(川内先生)		